

Contents

- 02-05 商品ものがたり
産直 平山さんのたねなし柿
- 06-07 そうなんや! 生協
きょうまるカードで賢くお得にお買い物♪
- 08-09 食とくらしの安全・安心
・畝山さんに聞く! 食の安全・安心
「食品に含まれる発がん物質」
・くらしの安全・安心
「『エシカル消費』を始めてみませんか?」
- 10-11 information/ ライフプラン川柳募集のお知らせ
- 12 秋の音楽会とコープのまなびば♪
お知らせ
- 13-15 読者投稿コーナー ほっとTIME
- 16 四季彩ごはん



▲今回お話を伺った
平山農園の平山忠央さん



柿グラタン



思い出の地、京都へ届ける 自慢の柿

▲7月の取材時は、枝に青柿がたわわに。晩夏〜秋頃には摘葉、摘果を行い、真っ赤に色づくのをゆっくり待ちます



産直 平山さんのたねなし柿

店舗のみ・10月から取り扱い予定
※表示価格は以前のものであり、天候状況などにより
今年の価格は異なる場合がありますのでご了承くださいませ。

長い日照時間で 甘みをたっぷり蓄えて

秋の果物といえば柿。これからますますおいしくなる時期ですね。コープのお店の店頭には「産直 平山さんのたねなし柿」(以下、産直たねなし柿)が並ぶと、深まる秋を感じます。

「産直たねなし柿」は、和歌山県の北東部、伊都郡かつらぎ町の山間に位置する平山農園で生産されています。3代目の平山忠央さんを

中心に、平山さんの父親・和男さんと平山さんの奥様・喜要巳さんの3人で切り盛りする家族経営の果樹農園です。ほかにも早生の刀根柿や甘柿の富有柿、春にはウメ、初夏にはプラム(メスレー)も栽培。農園の広さは2ha以上あり、その半分を占める広さで柿を栽培しているため、9月下旬から11月中旬は特に大忙しです。

ちなみに、和歌山県は柿の生産量日本一。柿以外にも、みかんやレモンなど果物の産地として知られ

ています。平山農園のあるかつらぎ町は、北に和泉山脈、南に紀伊山地を仰ぎ、町の中心部を紀の川が東西に流れ、和歌山県の中でも四季折々の果物の栽培が盛んな土地柄です。平山さんは、「農園があるのは山の中ですが、南向きの傾斜地で水はけが良く、朝も夕方も日差しがよく入ります。これが柿の栽培にはうってつけ。同じ和歌山の柿でも、私たちの地域で採れる柿が一番おいしいと自負しています」と話します。